

令和7年度 第3回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会

次第

日時：令和7年9月17日（水）

午後2時00分～

場所：川西市役所 地下1階 B03 会議室

1. ワークショップ開催の報告
2. 牧の台コミュニティ協議会の実施計画書について
3. その他

ワークショップでの意見

～ワークショップの流れ～

4つの班へチーム分け (各班10名程度)

- ・参加者40名を各班へ振り分け

課題の抽出

(議題1)

大和バスによく乗る人、乗らない人の理由

- ・自己紹介(居住地、バスの利用頻度など)
- ・バスに乗る理由、乗らない理由を発表

解決策の検討

(議題2)

バスの利用頻度を増やすための取組

- ・議題1の結果を参考に、効果的な利用促進策を検討

(議題1) 大和バスによく乗る人・乗らない人の理由の意見まとめ

大和バスによく乗る人の理由

- ・飲み会の帰宅時
- ・バスに乗らないと駅方向にいけないから
(お店が駅周辺に集まっている)
- ・登り坂がきついから帰りに乗る
- ・電車での遠出・通院・お稽古時に利用
- ・車、免許なし
- ・バスは大和に必要と考えるため、無理しても週2回は乗るように心がけている

大和バスに乗らない人の理由

- ・1時間に1本しかないところもある
- ・土・日・祝日にバスがない時間帯がある
- ・最終便が早く通勤に使えない
- ・便数が少ない・運賃が高い・バス路線が少なく利用出来ない
- ・停留所間が長い・バス停までが遠い
- ・バスが小さくて、バス停に来た時には既にいっぱい乗っている
- ・駅と逆方向に行く目的がない(駅方向に行く人が多く、利用に偏りがある)
- ・10分以上待つ場合は歩く(歩く方が早い)
- ・クルマの方が便利(子どもを何人も連れている場合はクルマを利用する)
- ・車を運転するので時間に束縛されず自由
- ・駅が近いので歩く(ウォーキングをしたい)

(議題2) 利用頻度を増やすための取組(案)のまとめ

1.子どもを対象にした利用促進

子どもをターゲットにすることで、付き添いの大人も巻き込む

- ・子どもの絵を車内に展示
- ・子どもを無料にする
- ・乗って楽しい子どもの車内放送
- ・学校行事で使う
- ・こども園の送迎
- ・東谷中学校（夏の部活）での利用

2.バス利用者への特典付与

- ・乗車時にスタンプ押してもらい、ためるとなにかもらえる
- ・利用したら「笑顔ミライちょきん」のポイントを付与
- ・バスの利用回数に応じて無料乗車券を自治会・コープ等が配る（10回乗ったら1回無料）
- ・コープ、銀行でバス利用者にスタンプ（景品又は割引・市の補助）
- ・1ヶ月何回以上乗ればコープの商品券がもらえるような制度
- ・自治会からの補助金

要望等

- ・便数を増やす
- ・土・日・祝日は1時間に1便にしてほしい
- ・土曜日は9時台が2便あるから、11時に1便走らせてほしい
- ・平日は11時と16時に増便してほしい（買い物のため）
- ・夜の便が20時30分最終なので、22時30分までにしてほしい（通勤に使えない）

3.イベント開催や施設設置

バス利用者の目的地を畦野駅だけではなく、各所につくる。

- ・東5丁目、第3自治会館、第10公園で
バスの時刻に合わせた大きなイベントをする
- ・奥の方に買い物を出来る施設を！
- ・大和ハウス所有地に集客施設・コープ移転
- ・魅力あるまちづくり（自治会・福祉・社協活動）
⇒人口増⇒バス利用増

4.その他意見

- ・バスロータリーへの自家用車の乗り入れを禁止する
- ・幼稚園バスのようにぐるぐる回る地域バスを走らせる
- ・デイサービスのバスを昼間に走らせる
- ・シャトルバス方式で運行（電車に合わせて上まであがる）
⇒（ダイヤ以外の利用）予約制にする（雨天時・イベント時増便など、臨機応変な運行）
- ・バスダイヤに合わせた生活を考える（病院・美容院予約・自治会活動の開始時間）

- ・山下駅を経由してほしい
- ・バスを大きいバスにしてほしい
- ・バス停を増やしてほしい
- ・ダイヤ・コースの再検討
- ・高齢者にとってバス停の発車時刻が分かりにくい
- ・電車が着いたらバスが待っている状態だと乗りやすい
- ・38便に戻して乗客増をめざす時間が欲しい